

一般社団法人 全麵協

2023.4.30

ニュースフラッシュ no.28



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

令和4年度 第7回理事会開催報告

令和5年4月23日(日)午後7時から、Web会議形式で「第7回理事会」が開催されたので、その概要をお知らせします。

1 報告事項

(1) 入退会報告:横田総務部長 <全員了承>

2 議事

(1) 設立30周年記念式典の運営について

赤羽専務理事

*参加者数:記念式典=474名(来賓16名含む)

懇親会=393名(来賓16名含む)

各支部参加者数

北海道102名 東日本71名 首都圏63名

中日本122名 西日本95名 特別個人会員5名

*運営スタッフ:本部・各支部・中日本支部

*会場配置:現地スタッフと打ち合わせをした。

5月中旬に再度打ち合わせをする。

*収支概算:当初の概算と現在は変わらず。

<全員了承>

*記念誌について:加藤理事

800部を予定

(2) 七段位認定選考会について:赤羽専務理事

5月10日に選考会を開催する。

<全員了承>

(3) 令和5年度役員について:赤羽専務理事
総会で提案してゆく。

<全員了承>

(4) 役員報酬について:赤羽専務理事
今後検討していく。

<全員了承>

(5) 四段位・五段位認定審査会用そば粉について:山本副理事長

*そば粉の選定状況:高段位用の粉だけでなく通常の粉も販売していきたい。

<全員了承>

(6) その他

・段位別のバッチについては、財政状況を見て検討していきたい。

・収入についてはグッズ等の販売も含めて、多くのご意見をいただいたので慎重に進めていきたい。

<全員了承>

首都圏支部「研修会」開催報告

首都圏支部に在籍する六段位及び五段位の認定者を対象として、3月26日に東京都立産業貿易センター浜松町館第2会議室において、「全麵協のこれからと首都圏支部の役割」と題して研修会を開催しました。

首都圏支部は、全麵協の事務局(本部)を所管している位置にあり、全麵協本部とより一層緊密な連携を図って、5支部の筆頭支部として様々な場面で牽引役を担ってほしいと期待するところです。

当日は中谷理事長以下本部役員と、首都圏支部から21名の参加者を得て、自己紹介に続き活発

な意見交換が行われました。参加者全員から日頃の活動や、本部に対する要望、そして首都圏支部の役割に関する提案等、貴重な研修の機会となりました。



(専務理事 赤羽章司)

首都圏支部 第2回名人戦・団体戦交流大会

全麺協首都圏支部主催 第2回名人戦・団体戦交流大会

首都圏支部として魅力ある全麺協とするため、また会員相互の交流のために第2回名人戦・団体戦の交流大会を有観客にて開催いたしました。



3月4日（土）は名人戦。

三段位までの25名を3組で行い、今回は、加水を計量カップを使用せずにプラスチックのボールで行いました。

競技者は加水量で苦戦をしながらも一生懸命にそば打ちを行い、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮した名人戦でした。

3月5日（日）は団体戦。

二八の部・生粉の部・更科の部を12組36人で行いました。

1組の合計段位を10段までとし、粉の量も各部1kgで行い、1都3県から12組参加して大いに盛り上がりました。

更科の部は、エンボス麺棒は使用禁止として行い、延しに苦労しながらも技量の高い大会でありました。



有観客にしましたので、それぞれの県やそば打ち仲間の応援があり、コロナ前と同じように非常に盛り上がりのある大会になりました。

表彰式は審査委員長の総評の後、名人戦は名人1名・準名人1名敢闘賞1名。

団体戦は二八の部・生粉の部・更科の部・団体の部、各部門に1名ずつ最優秀賞、優秀賞、敢闘賞が贈られました。



（首都圏支部 広報担当 田仲悦朗）

西日本支部 そば打ち名人大会・団体そば打ち大会

第1回会員交流そば打ち名人大会

3月18日に会員の技術の向上、親睦を図るため第1回会員交流そば打ち名人大会を開催しました。会場としては兵庫県立労働会館を初めて使用しました。JR姫路駅に近いので遠方（三重県や沖縄県）からの参加者にも好評でした。名人大会は初めての試みであり、何人の参加者があるか心配もありましたが、募集定員を超えて、二段位から五段位の男女40名の方々が熱戦を繰り広げました。



表彰式では名人、準名人はじめ、多くの順位賞が授与され、感激のあまり涙ぐむ方もおられました。

初代名人には中谷理事長から直々に理事長杯を授与していただきましたこと、心から御礼申し上げます。

名人：小谷敬子さん(山陽手打ち蕎麦の會)

準名人：渡部結花さん(そばヨガの會)

準名人：池藤嘉信さん(神戸手打ちそばの會)



第6回会員交流団体そば打ち大会

翌日3月19日には会員の親睦を図り、そば打ちを楽しむ会員交流団体そば打ち大会の第6回を迎えることが出来ました。支部の各地から32チーム(128名)が華やかに、楽しく、賑やかに競い合いました。

1チームは4名で5分毎に交代しながらそばを打ちます。採点は技術点(70点)に加えて、チーム点(30点)で審査します。チーム点は普段の活動、チームワーク、ネーミング、服装など。

服装は武将、お姫様、盆踊り編み笠、阪神タイガース、ハ咫鳥、アフリカンなど年々過熱気味。



高校生チームは全員がゼロ段ながら、若さ溢れるそば打ちで大健闘でした。

最優秀賞：ニコニコの太陽
(ニコニコそば打ち同好会)

優秀賞：西条農業高等学校
(東広島そばの會)

努力賞：そば打ち師殿の4人
(山陽手打ち蕎麦の會)

2日間に亘り盛況に開催できました。参加者、スタッフの皆様、ありがとうございました。



(西日本支部長 篠原美文)

会員だより

4月18日に北海道の旭川市に隣接する、東川町の文化交流課主催により世界各国から当町の日本語学校に留学している生徒を対象とした「そばを食べる会&そば打ち体験教室」が開かれました。本会から中谷理事長以下、本部役員、並びに北海道支部の会員有志が参加協力しました。

この会には留学生が60数名参加して、そば打ちの楽しさと、そばの美味しさに感嘆の声を上

げていました。

「体験教室」の指導は、女性の上位段認定の方々にお願いし、「食べる会」には、じぞう庵そば塾と上砂川手打ちそば愛好会の皆様に協力をいただきました。

当町の日本語学校には、タイ・インドネシア・台湾・ベトナムなど30か国以上の留学生在籍しており、東川町を世界の文化の拠点としたいとの構想から、町職員に外国人20人を採用

しているとのことでした。

今後は、10月25日に留学生100名を集めて本格的な体験講習会を開催し、指導は旭川近郊のそば打ち仲間をお願いすることを予定しています。

留学生の皆さんには、日本の伝統食文化である手打ちそばの技術を体験し、本国へ戻ってからも日本の文化を伝え広めて貰うことを願っています。



(監事 高谷晶美)

「地域交流フォーラムin小淵沢」開催案内

全麺協企画部では、令和5年度「地域交流フォーラムin小淵沢」の参加者を会員の皆様から募集します。

そば食文化の変遷とそばによる地域振興の現状を学び、「そば料理テスト」によって会員相互の交流を深めるとともに、「女流そば打ち名人大会」を開催してそば打ち技術の向上を目指します。

概要は下記のとおりです。参加希望者は、下記に問合せください。

記

- 1 期日 令和5年7月1日(土)～2日(日)
- 2 場所 山梨県北杜市小淵沢町 アルソア本社
- 3 参加募集 50名
(女流そば打ち名人大会及びそば料理コンテスト出場者を含む。)
- 4 参加料
 - ①セミナー参加：2,000円(ランチ付き)
 - ②交流会参加：6,000円(7月1日夜)
 - ③女流そば打ち名人大会出場：5,000円
 - ④そば料理コンテスト参加：2,000円



- 5 宿泊 アルソア本社宿泊施設
- 6 申込メ切 令和5年6月11日(日) 必着
- 7 申込先 NPO法人信州そばアカデミーフォーラム事務局(申込書に記載)

《スケジュール》

- 7月1日(土) <第1部・午前> セミナー”そば食文化と健康”
 7月1日(土) <第2部・午後> 女流そば打ち名人大会
 7月2日(日) <第3部・午前> そば料理コンテスト

◎問い合わせ先

「全麺協企画部長：南木美千子」
(080-6069-3166)

又は
 「信州そばアカデミー」(080-1268-2604)
 *メール申込先 yukarian@orion.ocn.ne.jp
 (参加申込者には、後日詳細をお知らせします。)



● 会員異動のお知らせ

- 1 加入
 - 東日本支部 ふじみ蕎麦クラブ
(令和5年4月3日)
 - 中日本支部 姨捨そば道場
(令和5年4月17日)
- 2 退会(令和5年3月31日)
 - 東日本支部 伊勢崎蕎麦ゆうゆう会
 - 首都圏支部 桜流蕎麦打ち研究会
 - 中日本支部 信州そば打ち美蕎交流会

全麺協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司
 編集主任 原秀夫
 チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子

皆様からの情報提供をお待ちしています。